

別表第1（第5条関係）

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	地域福祉ネットワーク事業			
担 当 課 係 名	社会福祉 課	総務企画 係	作成者	成田祐子
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	共に参加し行動する市民協働のまち		総合計画のページ
	基本計画	地域づくり活動の推進		
	主要施策	地域づくり活動への支援		104
予 算 費 目	一般 会計	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	1 目 社会福祉総務費
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理			
根 拠 法 令 等	仙北市地域福祉ネットワーク事業実施要綱			
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
運 営 方 法	☐ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☒ 民間委託(全部) ☐ 補 助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	要援護者に対し
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	多様な福祉ニーズに対し、きめ細やかな支援を行う
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	主に相談等の事業を実施する。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	相談所開設回数	目標	回	105	108	80	
			実績	回	105	108	80	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	相談実績	目標	回	0	0	0	
			実績	回	62	64	113	
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)		500,000		6,000	700	500	
	人 件 費 (B)		—		79	81	79	
	職 員 数		—		0.01	0.01	0.01	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				6,079	781	579	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				0	0	0
		県 支 出 金				4,000	700	0
		地 方 債				0	0	0
		そ の 他				0	0	0
		一 般 財 源		0		2,079	81	579
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		57,895	7,231	7,238
市民1人当たりのコスト(円)		—		191	25	19		

【事務事業の今までの成果】

仙北市地域福祉ネットワーク事業実施要綱により、地域福祉のニーズに対応した住民参加の地域づくりを目的として主に相談業務を実施。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	平成19年度までは、県補助があったが平成20年度から事業廃止となった。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	相談の内容が多岐に渡り複雑化し、解決に至るケースが少ない。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	この事業の主なものは相談事業であり、市と社会福祉協議会との関わりについて検討を要する。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	委託先（社会福祉協議会）との協議を行い、事業推進のあり方について見直しが必要と考えます。

一次評価診断図

